

2012年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2011年11月14日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2011年11月14日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

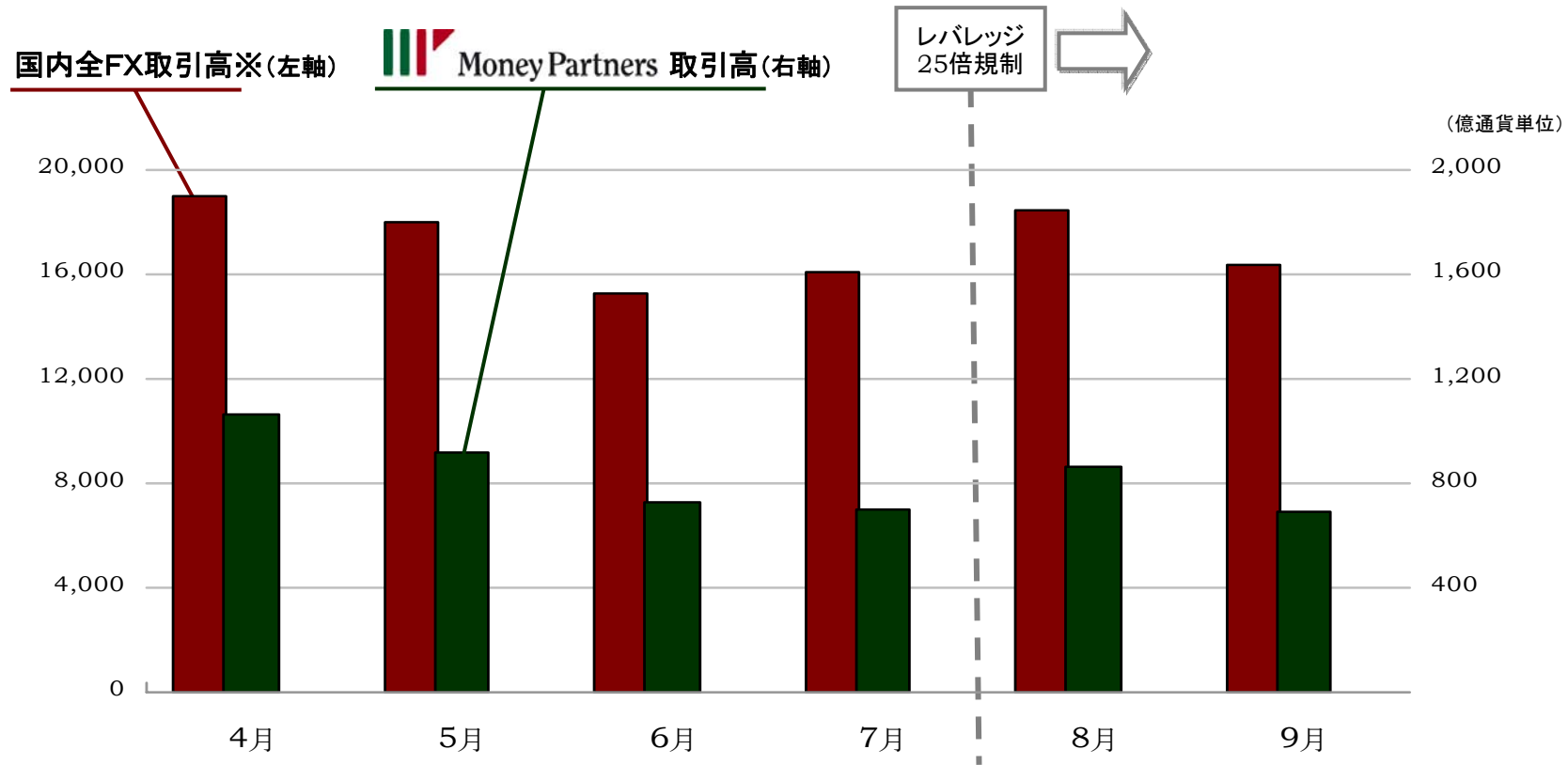


Money Partners Group

証拠金規制による当社グループへの影響

■ 証拠金規制(レバレッジ規制)の影響

2011年4月～9月 月次FX取引高推移



※ 店頭取引(金融先物取引業協会発表) + 取引所取引(各取引所公表)

取引高は外国為替市場のボラティリティの影響を受けるため単純に比較はできないものの、取引高のトレンドラインは規制前と比べ△10%～△15%程度の影響があったものと推定。

- I .2012年3月期第2四半期の決算及び事業の概況
- II .2012年3月期第2四半期の取組みと重点課題の進捗状況
- III .当社グループの強みと今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2012年3月期第2四半期の決算及び事業の概況





2012年3月期第2四半期 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は約17.6万口座と順調に拡大。預り証拠金も口座数の拡大に伴い前四半期比3.3%増の375億円に。

総口座数	175,640口座	2012/3期1Q比	4.8%増
預り証拠金	37,526百万円	2012/3期1Q比	3.3%増

- ② 外国為替取引高は、変動率の低迷や競争激化、レバレッジ規制の影響等により前四半期比16.7%の減少。

7-9月取引高	約2,253億通貨単位	2011/4-6月比	16.7%減
---------	-------------	------------	--------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 第2四半期(2011/7-9)の営業収益は1,922百万円(前四半期比5.2%減)、経常利益は67百万円(前四半期比32.0%減)となった。

- ④ 四半期純利益は新株予約権戻入益(特別利益)計上の影響等により、前四半期比24百万円増(43.2%増)の80百万円となった。

- ✓ 取引高は四半期を通じてみると低調な変動率であり、競争激化やレバレッジ規制の影響等もあり前四半期比では16.7%減となった。
- ✓ 経常利益が31百万円減少したものの、特別利益が67百万円、特別損失が41百万円計上されたため前四半期比24百万円増(43.2%増)となった。



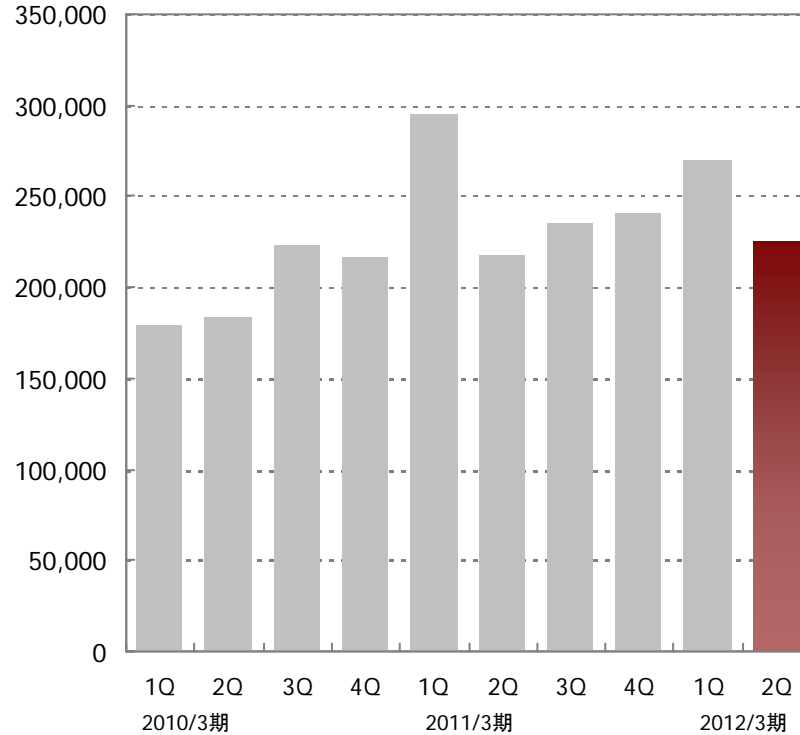
事業数値の動向

Money Partners Group

■ 外国為替取引高および営業収益の推移

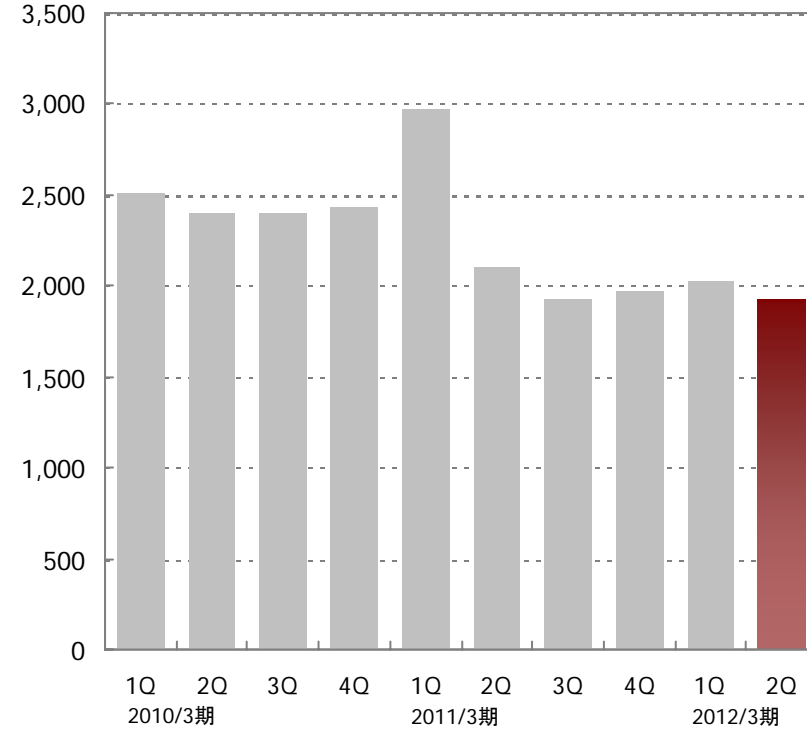
(百万通貨単位)

外国為替取引高



(百万円)

営業収益



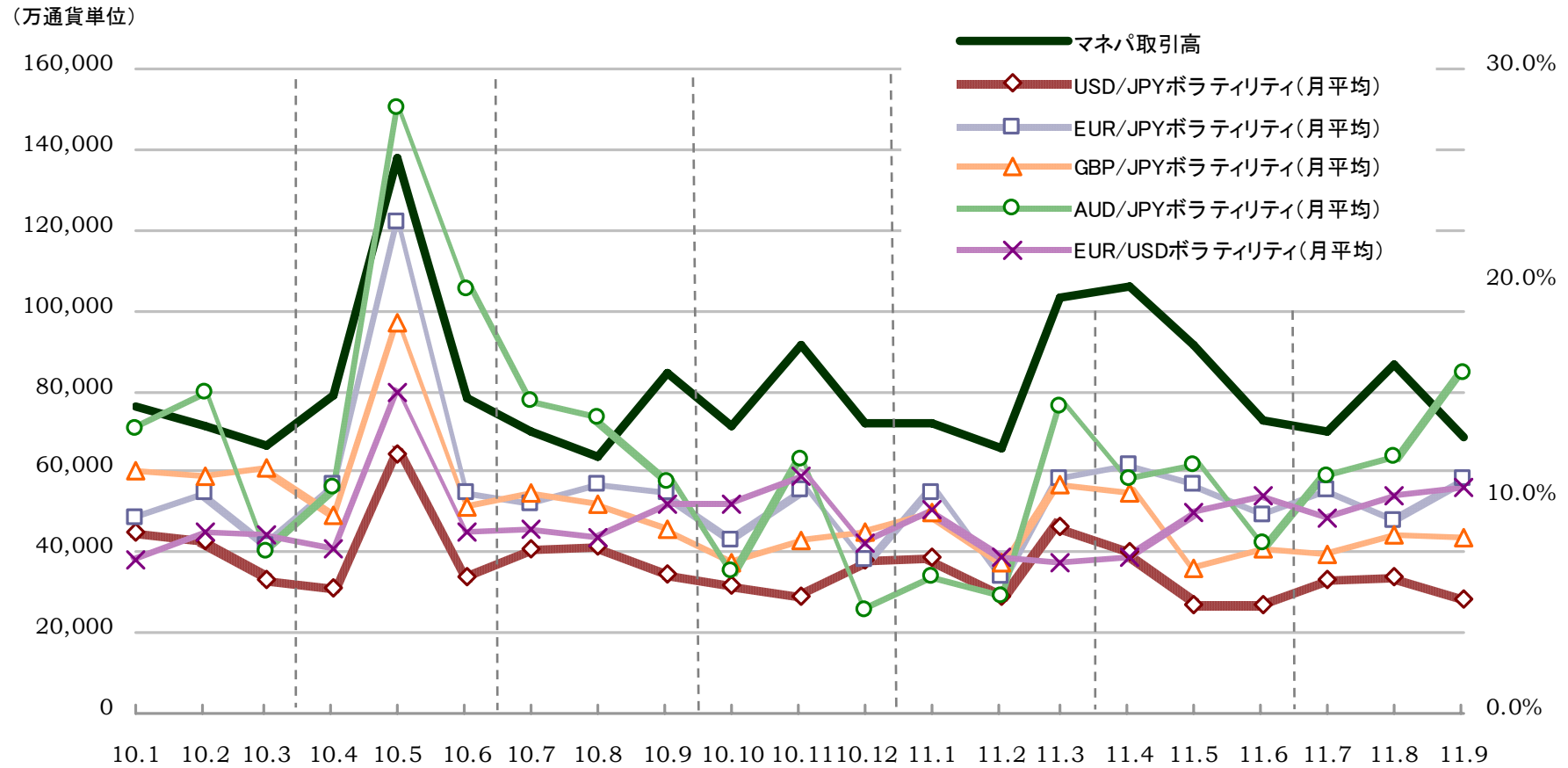
(単位＝外国為替取引高: 百万通貨単位、営業収益: 百万円)

	10/3期 1Q	10/3期 2Q	10/3期 3Q	10/4期 4Q	11/3期 1Q	11/3期 2Q	11/3期 3Q	11/3期 4Q	12/3期 1Q	12/3期 2Q
外国為替取引高	179,617	184,039	223,243	213,366	295,234	217,810	235,158	240,340	270,379	225,346
営業収益	2,509	2,394	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969	2,027	1,922

※それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



(出所: マネーパートナーズ)

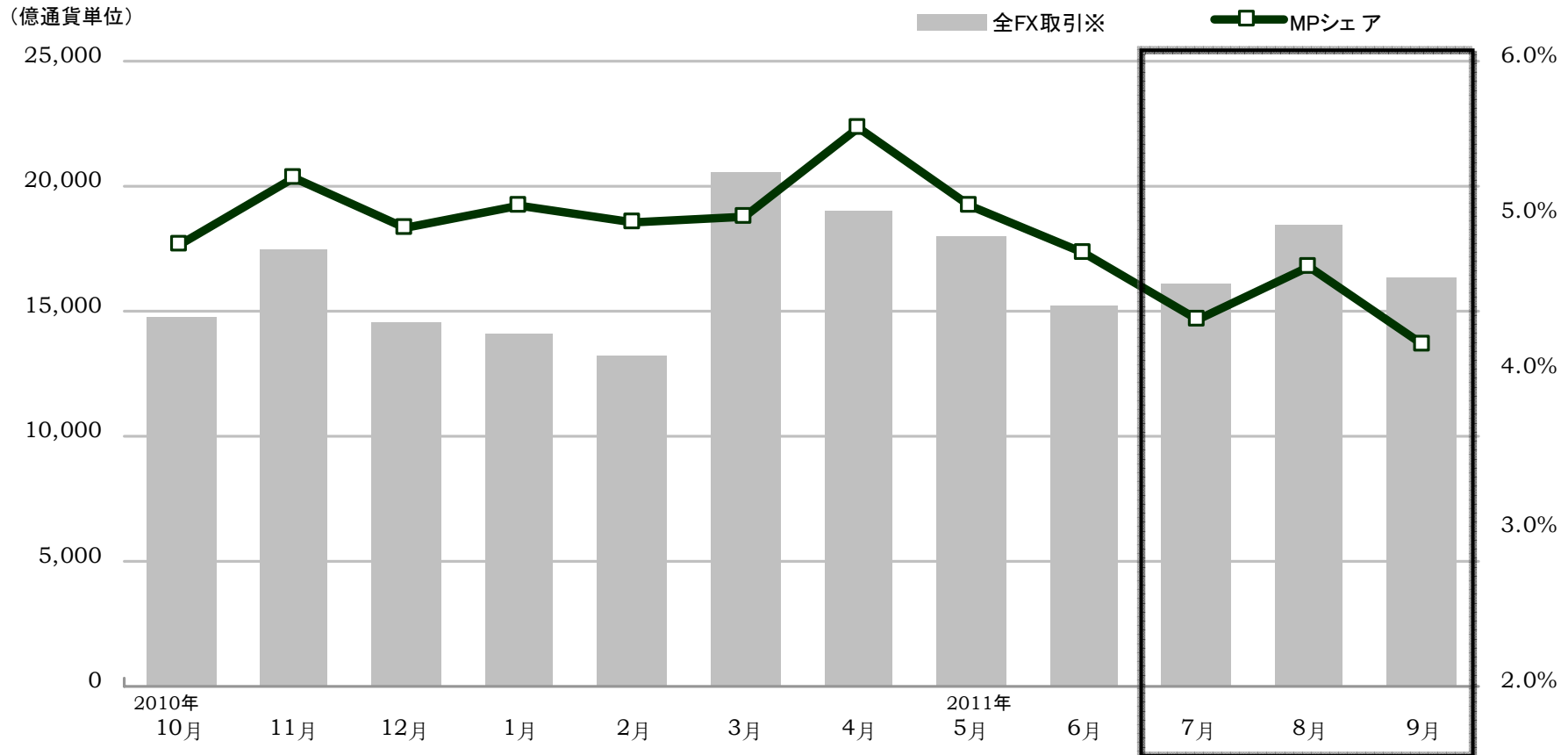
8月は急激な円高進行や日銀介入等で一時的に変動率は高まったものの、四半期全体の変動率は総じて低調であった。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

■ 国内全FX取引高と当社取引高シェアの推移



※ 店頭取引(金融先物取引業協会発表) + 取引所取引(各取引所公表)

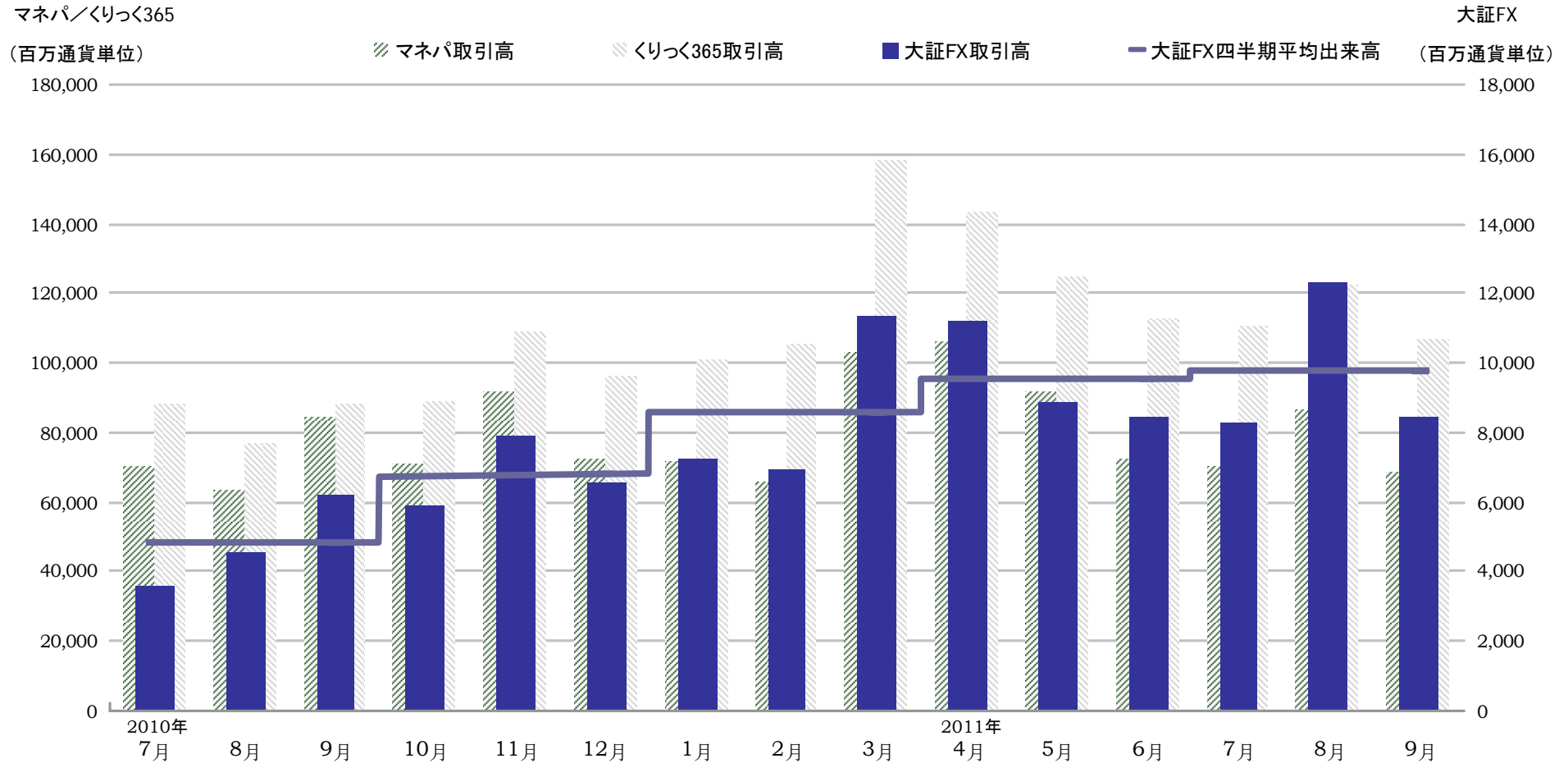
競争激化等により取引高シェアは弱含みに推移するも、その間取引高当たり収益性の向上に注力。
 → 一定の成果は上がりつつあり、3Qからは取引高当たり収益性を重視しつつスプレッド縮小等によりシェア改善を図る。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

■ 大証FX取引高と当社及びくりっく365取引高の推移



大証FXの取引高も堅調に増加し、マーケットメイク業務からの収益も安定的に推移。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2010/3期		2011/3期				2012/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969	2,027	1,922	△5.2%
受入手数料	0	0	0	0	0	0	3	4	21.1%
トレーディング損益	2,381	2,417	2,955	2,077	1,920	1,958	2,015	1,903	△5.5%
金融収益	4	5	6	5	4	4	3	4	23.0%
その他の売上高	18	7	13	21	5	5	4	9	99.0%
金融費用	0	2	2	2	2	14	36	38	4.5%
売上原価	10	5	8	14	3	1	1	5	262.8%
純営業収益	2,392	2,423	2,964	2,088	1,925	1,952	1,989	1,878	△5.6%
販売費・一般管理費	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	1,801	△4.6%
営業利益	297	339	698	115	45	156	102	77	△24.4%
経常利益	295	336	693	107	38	149	98	67	△32.0%
税金等調整前四半期純利益	295	336	671	107	△42	150	94	92	△2.5%
四半期純利益	213	195	394	59	△26	87	56	80	43.2%
営業収益経常利益率	12.3%	13.8%	23.3%	5.1%	2.0%	7.6%	4.9%	3.5%	

1. 営業収益は、取引高の減少に伴い前四半期比5.2%減と105百万円減収。
2. 経常利益は、販管費が減少したものの営業収益の減少により前四半期比32.0%の減少となった。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳および主要費目の推移

単位: 百万円

	2010/3期		2011/3期				2012/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	1,247	1,220	1,369	1,079	1,010	953	973	915	△6.0%
人件費	245	239	244	240	239	222	244	244	△0.1%
不動産関係費	256	266	260	260	254	243	266	248	△6.7%
事務費	210	221	230	238	216	227	233	234	0.1%
減価償却費	112	119	116	123	129	129	124	131	5.5%
租税公課	11	1	14	13	10	0	10	11	11.3%
貸倒引当金繰入れ	△0	0	0	0	0	4	—	0	—
その他	11	13	28	16	18	14	34	15	△54.0%
販売費・一般管理費合計	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	1,801	△4.6%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	347	344	216	237	204	132	99	147	48.0%
システム関連費用(※2)	366	387	405	422	388	391	414	399	△3.5%

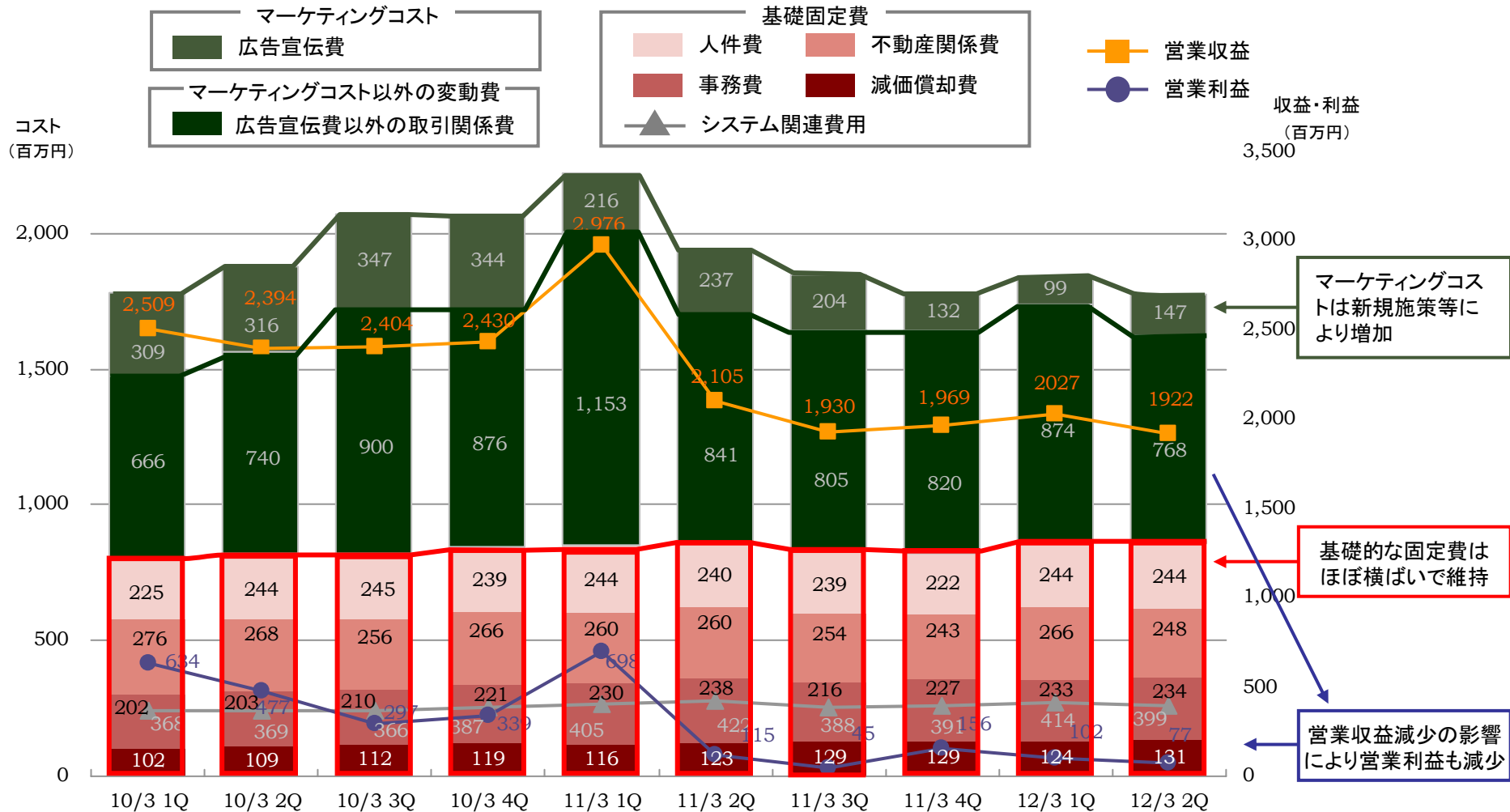
※1 取引関係費の一部となります。 ※2 旧経理基準における電算機費に相当します。取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

1. 広告宣伝費は新規口座獲得数の拡大を図ったことに加え、47百万円増加し147百万円となった。
2. システム関連費用は前四半期の一時的費用増加の剥落等により14百万円減少し399百万円となった。



四半期固定費及び変動費推移

■ 主要な固定費・変動費の推移



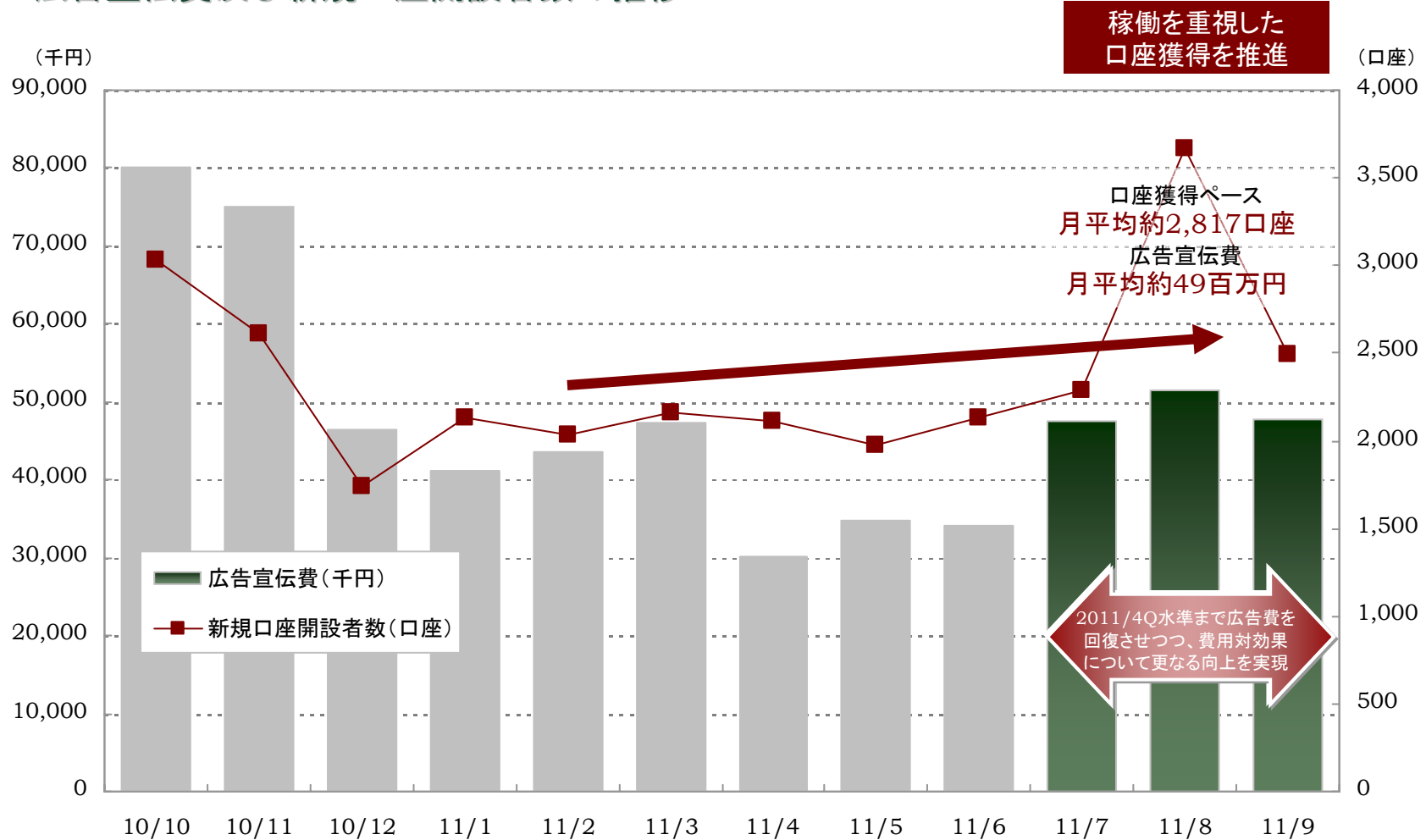
マーケティングコストが増加したものの、取引高減少に伴う変動費の減少に加え基礎固定費が減少した結果、コスト全体では前四半期比減となった。



Money Partners Group

月次広告宣伝費の推移

■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



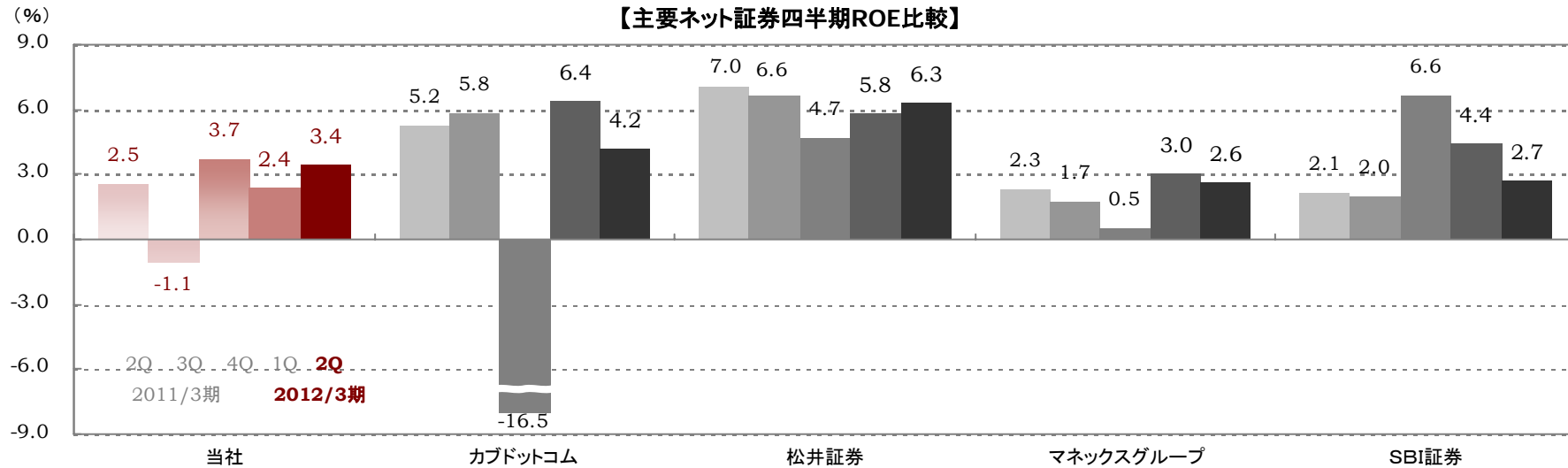
費用対効果を重視しつつ、レバレッジ規制や競争激化を踏まえ新規口座開設者数の増加にも注力。



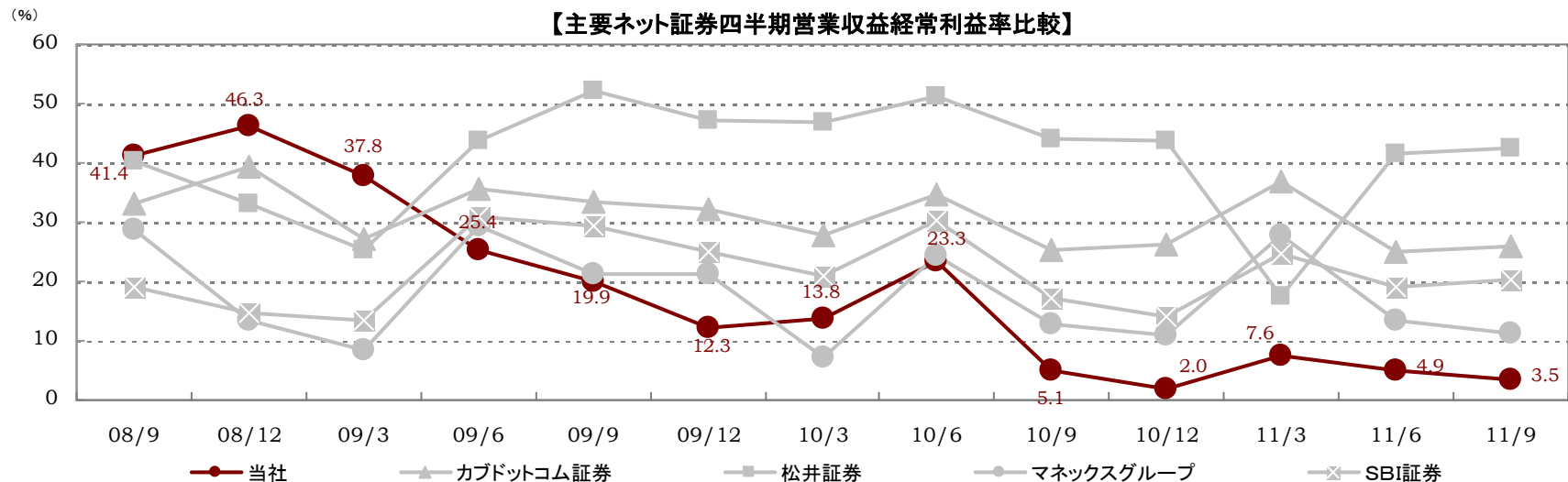
主要経営指標推移

Money Partners Group

■ 主要ネット証券とのROE及び営業収益経常利益率比較



※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$ なお、他社データにつきましては、各社IR資料より当社が作成しております。





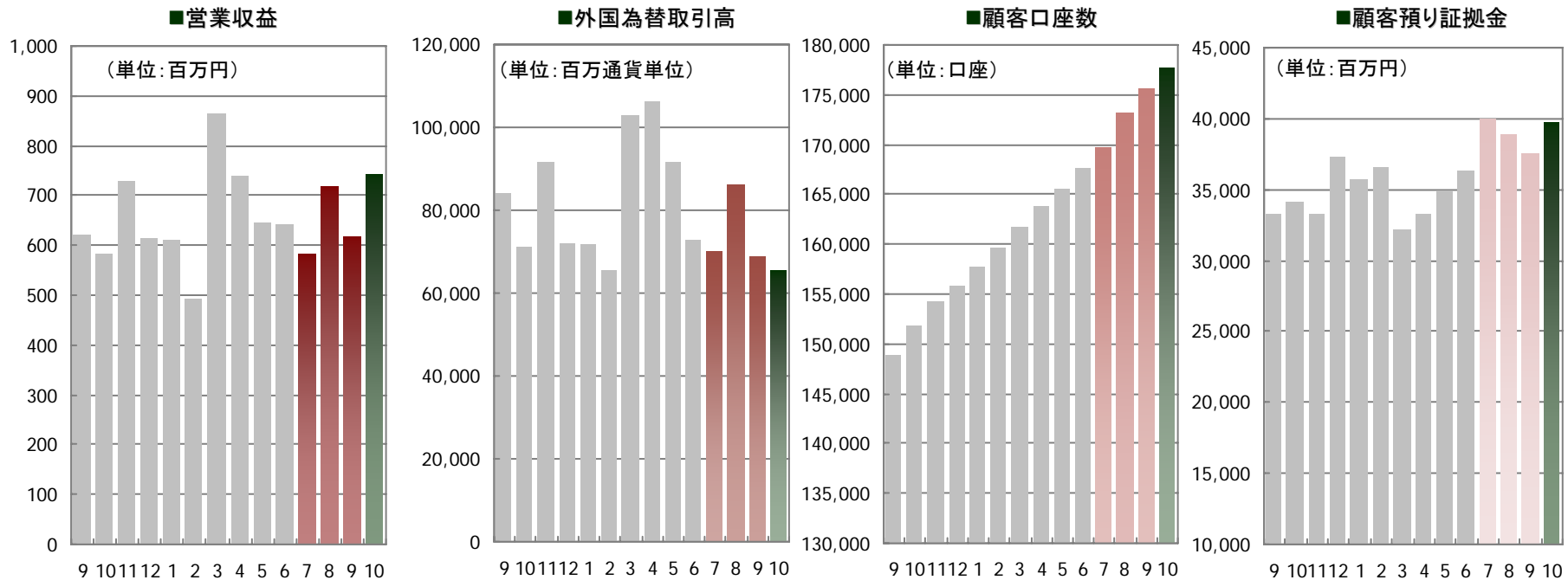
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業収益(百万円)	622	584	729	616	611	493	863	738	645	643	584	720	617	744
取引高(百万通貨単位)	84,155	71,247	91,748	72,162	71,791	65,614	102,934	106,089	91,504	72,784	70,070	86,419	68,855	65,476
顧客口座数(口座)	148,898	151,789	154,260	155,852	157,862	159,773	161,785	163,794	165,636	167,644	169,764	173,298	175,640	177,820
顧客預り証拠金(百万円)	33,237	34,136	33,271	37,244	35,725	36,498	32,152	33,195	34,799	36,317	39,932	38,851	37,526	39,751

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



顧客基盤、外国為替取引高とも堅調に推移

Ⅱ .2012年3月期第2四半期の取組みと重点課題の進捗状況





2012年3月期第2四半期の主な取組み

証拠金規制対応について

- ◆ 証拠金規制(レバレッジ25倍)の施行に伴う商品性変更と顧客への周知徹底

システム関連の取組み

- ◆ リッチクライアント取引ツール「HYPER SPEED NEXT」のパフォーマンス向上と新機能の実装
- ◆ システムの信頼性向上とシステムコスト効率化を両立するためのデータセンター集約を完了

顧客向けサービス関連の取組み

- ◆ スリッページなし、約定拒否なしの徹底による透明性の高いFXサービスを継続提供
- ◆ 顧客利便性の向上を目的に、会員専用サイトのリニューアル実施
- ◆ “負けない”顧客育成のための「トレードレポート」+「社長直筆アドバイス」

顧客基盤拡大に向けての取組み

- ◆ 金・銀を対象としたCFD取引サービス「CFD-Metals」のサービスイン
- ◆ 両替サービスの認知度向上による実需ニーズ顧客の取り込み
- ◆ FX初心者向け、女性向けビギナーコンテンツの充実による新たな顧客導線の獲得

BtoBビジネスに関する取組み

- ◆ 海外証券会社等とのアライアンスの模索
- ◆ 大手事業法人・金融法人等のアライアンスの模索



2012年3月期の重点課題

	重点課題・重点施策	進捗状況
既存分野	▶ 顧客育成による事業基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・トレードレポート等顧客向けサービスの強化 ・FX取引顧客化への導線の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレードレポート紹介ページのリニューアル、対象顧客への訴求等 ・パートナーズFXnanoの商品性強化、女性向け施策の始動等新たな試みを実施
	▶ コスト構造の更なる筋肉質化 <ul style="list-style-type: none"> ・システムコスト、口座獲得コストの最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ・H/Wの構成見直しに伴うコスト削減に取組み中 ・広告コストは継続的に見直しを図っており、新規稼働率は高水準を維持
	▶ 内部成長の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・プロパー顧客の取引拡大 ・取引高当たり収益性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種キャンペーンの実施やセミナーの開催等によりプロパー顧客の取引拡大に取組み中 ・大ロット超短期取引への対応等に加え、低ボラティリティ下でも一定の収益を獲得するべく改善を継続中
新規分野	▶ 実需向けサービスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・外貨両替・受取サービスの知名度向上、利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨両替・受取サービスは順調に推移 ・当社の差別化戦略のひとつとして、新サービスの開発や既存サービスの更なる強化に取組んでいく
	▶ 新商品・新サービスの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい店頭デリバティブ商品のサービスイン ・ユーザーオリエンテッドな新サービスの開発・展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月下旬にCFD取引サービスを開始 ・資金移動業の登録申請に着手するとともに、新サービスの検討・開発に着手

FXを軸にしたBtoCビジネスに経営資源を傾け、独自のポジションを確立する



Money Partners Group

公平かつ価格の透明性の高いFXサービスの継続提供

◆3年連続『約定力』No.1を獲得！（矢野経済研究所調査結果より算出）



【調査要綱】

- (1) 調査期間および時間 : 9月6日(火)～9月9日(金)の4日間 それぞれ日本時間の21時～22時の1時間程度
 (2) 対象先数および選定条件 : FX有力企業のうち、10社を任意抽出
 (3) 調査方法 :
 ・同じスペックのパソコン、ネット環境の下で調査実施
 ・マーケット注文(ストリーミング)のみを対象とし、売買時の約定率を調査 (1日25売買の50約定×4日=200約定)
 ・どのような相場でも、ドル買(新規)⇒ドル売(決済)=1往復取引とする。なお、スリッページの設定のある会社は、「1pip」に設定する。

【約定率調査結果】

順位	企業名	公表スプレッド (pips)	注文回数	約定拒否回数	約定率 (%)
1	マネーパートナーズ	1.2	200	0	100.0
1	A社	1.0	200	0	100.0
1	B社	2.0	200	0	100.0
1	C社	2.0	200	0	100.0
5	D社	1.0	200	1	99.5
5	E社	0.8	200	1	99.5
5	F社	0.8	200	1	99.5
8	G社	1.0	200	2	99.0
9	H社	0.8	200	6	97.0
10	I社	0.8	200	17	91.5

【スリッページ発生率調査結果】

順位	企業名	公表スプレッド (pips)	注文回数	スリッページ発生回数	スリッページ発生率 (%)
1	マネーパートナーズ	1.2	200	0	0.0
2	J社	1.0	200	2	1.0
3	K社	2.0	200	6	3.0
4	L社	1.0	200	15	7.5
5	M社	1.0	200	25	12.5
6	N社	2.0	200	27	13.5
7	O社	0.8	200	28	14.0
8	P社	0.8	200	39	19.5
9	Q社	0.8	200	50	25.0
9	R社	0.8	200	50	25.0

上記調査でスリッページ発生率ゼロは当社グループのみとなり“約定力のマネパ”を実証

会員専用サイト、取引画面のリニューアル実施

◆操作性やユーザビリティの向上、情報量の増加を実現

【画面デザインおよびレイアウトの全面リニューアル】



【取引画面のリニューアル】



ビギナーからアクティブユーザーまでの幅広い顧客の利便性を追求

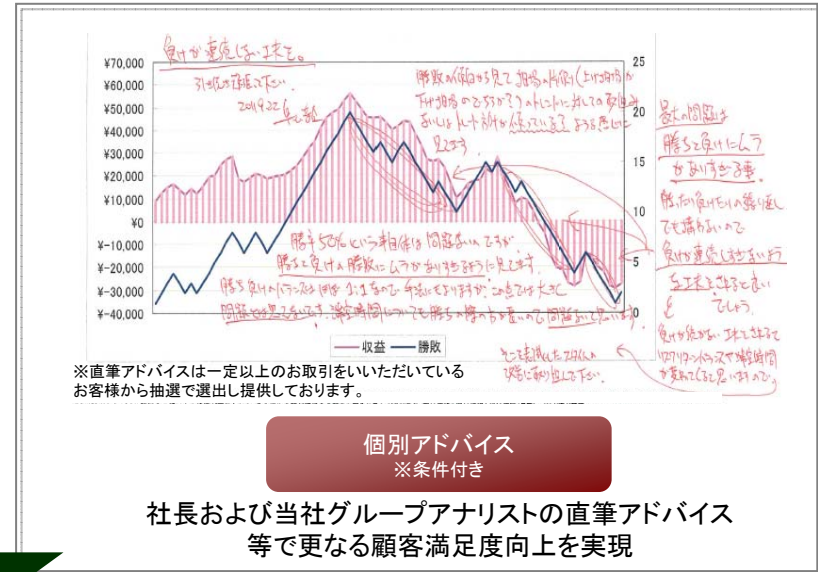
“負けない”顧客を育成するための施策を強化

◆トレードレポートの利用促進とサービス向上で顧客育成を推進

【トレードレポート】



【奥山社長直筆アドバイス】



トレードレポート非閲覧者との比較

- 平均稼働率 → 稼働率が高く、取引促進につながっている傾向にある
- 平均取引高 → トレポ発行直後の取引高の増加の度合いが大きい傾向にある
- 平均損益振れ幅 → 損益の増減の振れ方が小さい傾向にある(リスク管理が意識できている)

顧客の投資手法の改善を促し、継続取引の促進と離脱防止に貢献



新商品「CFD-Metals」のサービスイン(8/22～)

Money Partners Group

◆金/米ドル、銀/米ドルを対象としたCFD取引開始で新たな顧客層を開拓



【CFD-Metalsの特徴】

- ・Webおよびモバイルでの取引が可能
- ・FXとほぼ同じ取引ルール
(手数料無料、取引時間23時間、ロスカットあり、スワップあり)
- ・FXと比べ高いボラティリティ

【CFD-Metals取り扱い銘柄】

Gold/USD

金

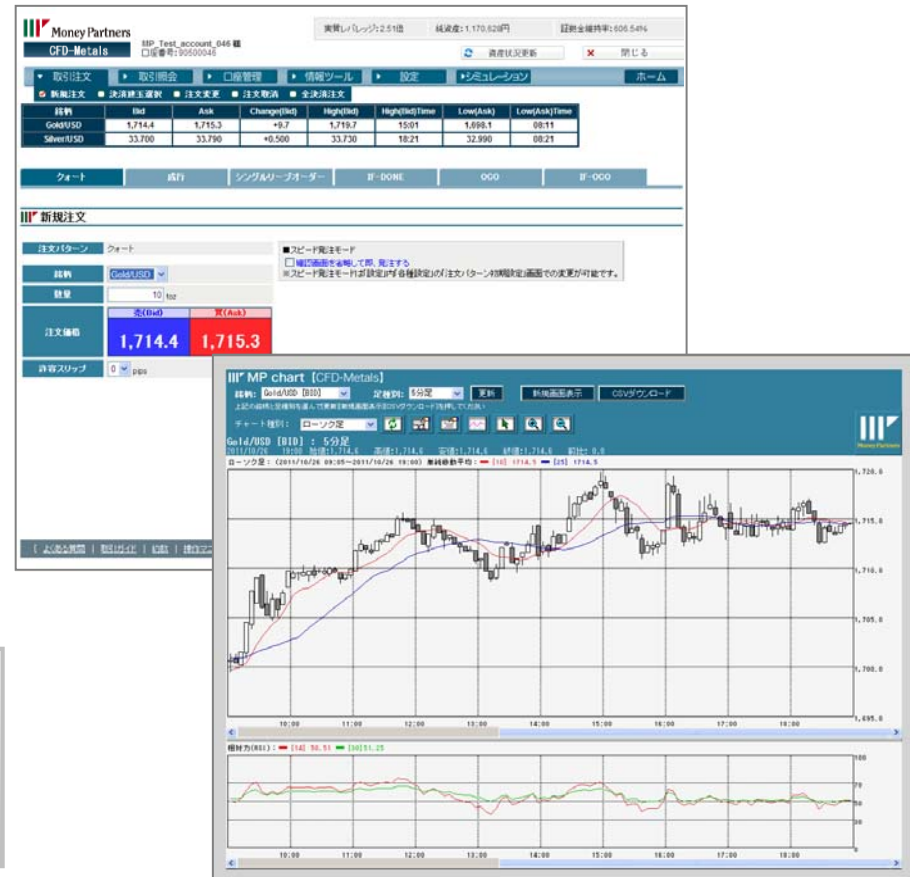
スプレッド : 0.9ドル
最小取引単位 : 10toz
最大レバレッジ : 約20倍

Silver/USD

銀

スプレッド : 0.09ドル
最小取引単位 : 100toz
最大レバレッジ : 約10倍

【CFD-Metals取引画面(Web)】

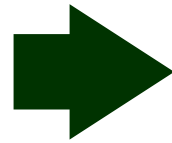


自社開発システムのリリース以降、障害なく安定稼動。
3Q以降は顧客への訴求を積極的に展開。

両替サービス認知度向上による実需層の取り込み

◆両替サービスのメディア紹介によって実需ニーズ顧客の口座開設が増加

【外貨受取サービスのメリット】



- ・割高な両替コスト
- ・来店時のレート(原則固定※)
- ・混雑した窓口

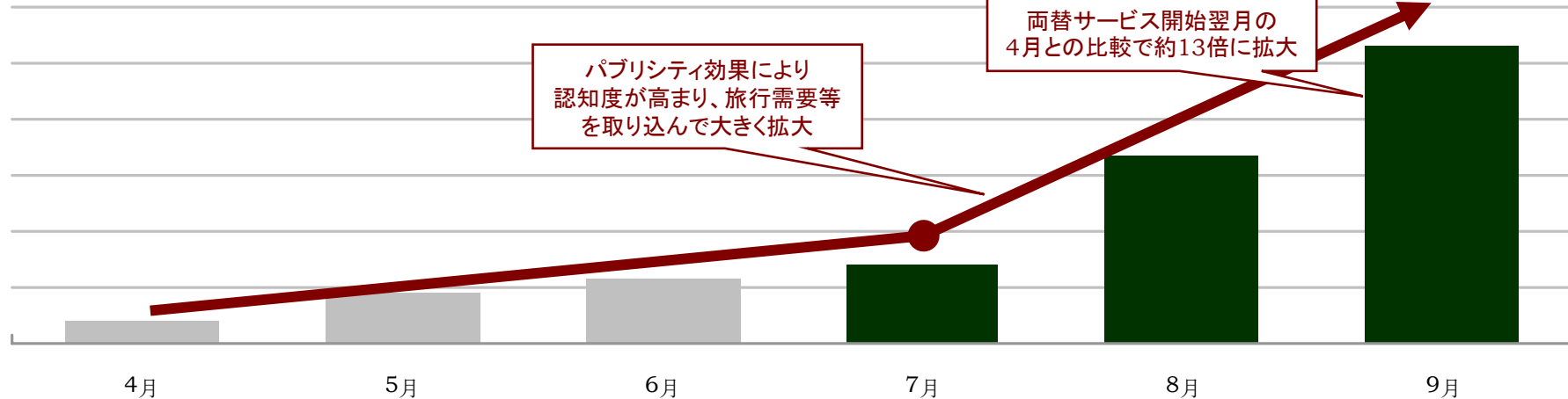
※1日1回午前10時～11時の間に各銀行で決定

- ・格安の両替コスト
- ・任意のリアルタイムレート
- ・事前手続きによるスムーズな受取

【外貨受取サービス開始後のメディア掲載】

3/28	FOREXPRESS	} 計11媒体
4/3	日経ヴェリタス	
4/4	日経新聞朝刊	
4/23	日経プラスワン	
5/25	日経新聞夕刊	
6/6	マイコミジャーナル	
6/20	日経新聞朝刊	
7/19	AllAboutマネー	
7/23	週刊ダイヤモンド	
7/27	日経新聞夕刊	
8/22	テレビ東京「WBS」	

<成田外貨受取件数の推移>



両替サービス利用顧客の更なる拡大を通じ実需インフラの基盤を確立する

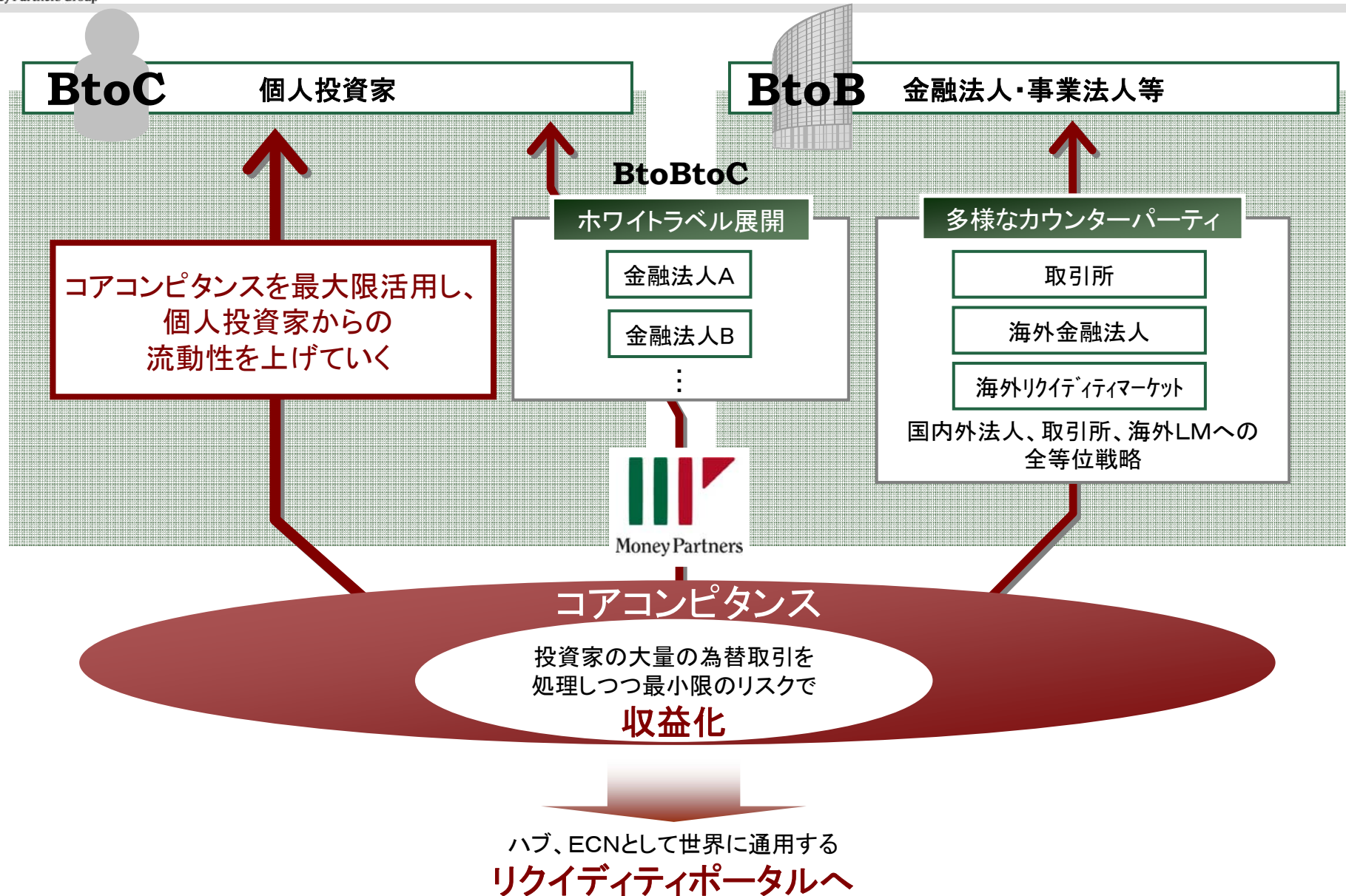
Ⅲ. 当社グループの強みと今後の目指すべき方向性

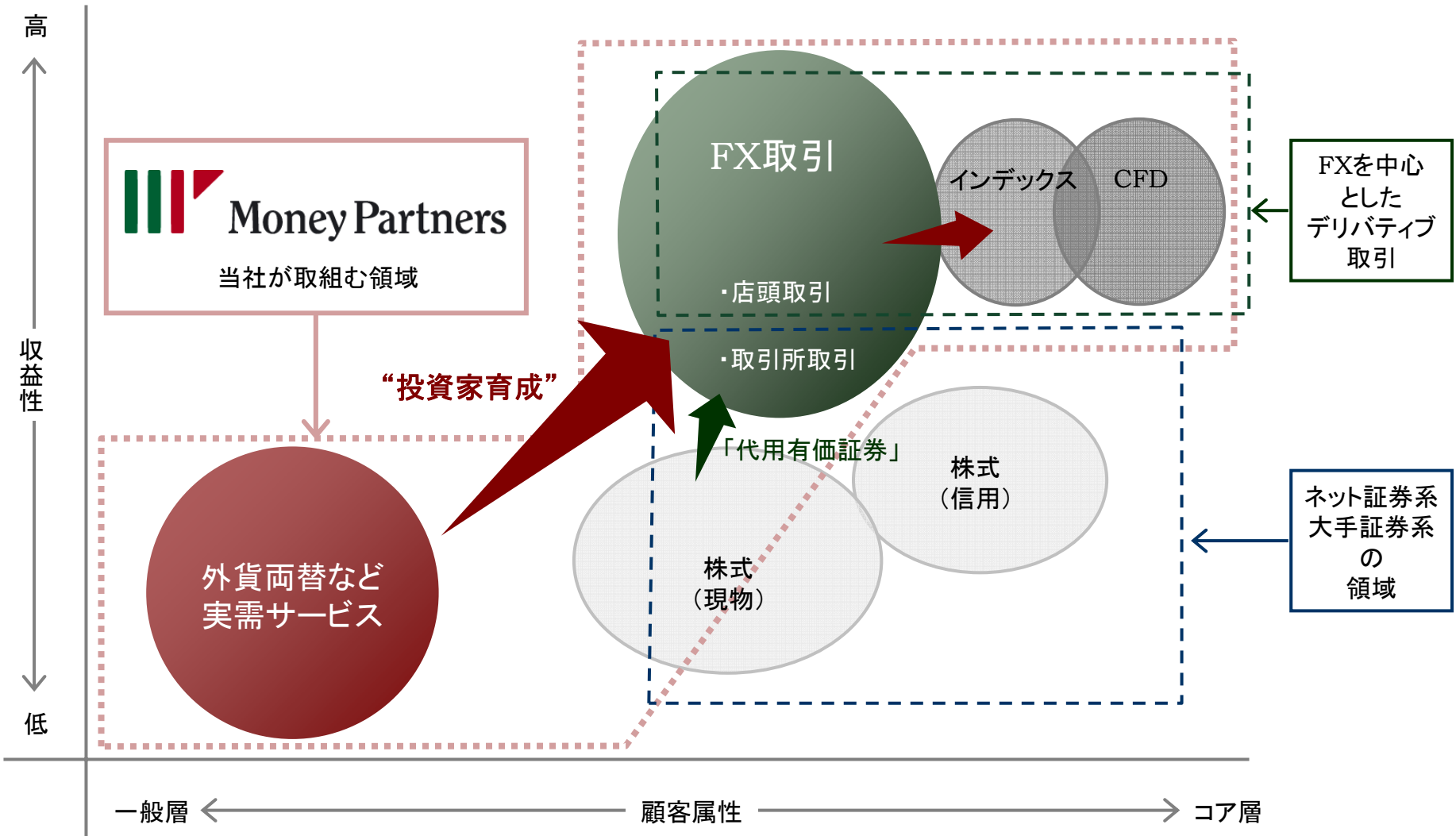




Money Partners Group

コアコンピタンスと目指すべき方向性





実需層への取組みを推進し、広く一般の投資家にも利用してもらえるFX会社を目指す

IV. 当社の経営目標及び株主還元について



ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2012年3月期第2四半期(2011年7~9月)のROEは3.4%**

※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2012年3月期第2四半期(2011年7~9月)の営業収益経常利益率は3.5%**

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE、営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2011年3月期				2012年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	394	59	△26	87	56	80		
配当金の総額 (百万円)	139		30		30			
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式10,623)		321,480 (内、自己株式20,023)		321,480 (内、自己株式20,023)			
1株当たり 配当金	450円		100円		100円			



取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引および電話での決済注文に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の2%以上の額で、証拠金の約50倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合、1万通貨単位あたり5千円から2万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約100倍までの取引が可能です。

CFD-Metals取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.5%の手数料(消費税別)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2012年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ